千歳市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

千歳市は支笏洞爺国立公園に指定されている支笏湖を源とする千歳川の清冽な流れと自然が育む豊かな大地に恵まれ、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しており、面積は594.50㎢で、人口は97,678人（R4.12.1時点）となっている。

路線バスの利用者は自家用車の普及等により昭和40年代をピークに減少傾向にあり、また、まちづくりに関する各種市民アンケートでは、路線バスに対する満足度は低い結果となっている。

路線バスの利便性を向上させ交通ネットワークを充実させることは、まちづくりにとって重要な要素の一つであることから、平成27年度に地域公共交通網形成計画、平成28年度に地域公共交通再編実施計画を策定し、全市的なバス路線の再編を実施した。

また、令和3年度には地域公共交通計画を策定したところであり、本計画に基づき利用者の利便性向上のための運賃制度の導入や各施策の実施など、バス事業者の収支改善に取り組んでいる。

しかしながら、路線バスの利便性を向上させることは、財政的負担を伴うことにつながり、バス事業者や市の財政支援で賄うことが極めて困難な状況にあることから、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用し、路線バスを基幹とする持続可能な交通ネットワークの構築と充実を図るものである。

地域公共交通の現況

・JR千歳線（千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅）
・路線バス（北海道中央バス、千歳相互観光バス、道南バス、
　あつまバス　16路線（内、地域間幹線系統2路線）
・東千歳デマンドバス（市内1路線）
・長都、中長都、釜加地区デマンドバス（市内1路線）
・スクールバス（7路線）

生活交通確保維持改善計画の目標

令和4年度申請時における目標を以下のとおり設定した。

① 4系統の収支率

	令和4年度
	R3.10～R4.9
目標値	40.0%
実績値	36.8%

② 利用人数（市乗降調査）※1日あたりの利用者数

	桜木線		みどり台線	
	目標	実績	目標	実績
冬	478人	398人	257人	282人
夏	443人	261人	230人	178人

協議会開催状況

令和4年6月30日　第1回協議会を開催
・協議事項：、令和3年度事業報告及び決算報告,令和4年度事業計画及び公共交通利用促進の取組など

令和4年9月12日　第2回協議会を開催
・協議事項：東千歳地区におけるデマンドバスの運行、みどり台南町内会による嘆願書の提出

令和4年12月22日　第3回協議会を開催
・協議事項：みどり台南町内会による嘆願書、桜木長都線の運行実績及び今後の運行方針

令和5年1月　第4回協議会（書面）を開催

令和４年度事業概要

【みどり台線】運行事業者：北海道中央バス株式会社
運行区間：千歳駅～みどり台北2丁目、運賃：千歳駅～みどり台北2丁目間 100円～280円
【桜木線】運行事業者：北海道中央バス株式会社
運行区間：以下のとおり、運賃：100円～280円（循環路線）
・桜木線①　千歳駅～千歳駅（循環）
・桜木線②　千歳駅～千歳駅（循環）　※ショートカット型
・桜木線③　千歳駅～桜木5丁目

令和４年度事業の実施状況

１） プロセス、創意工夫

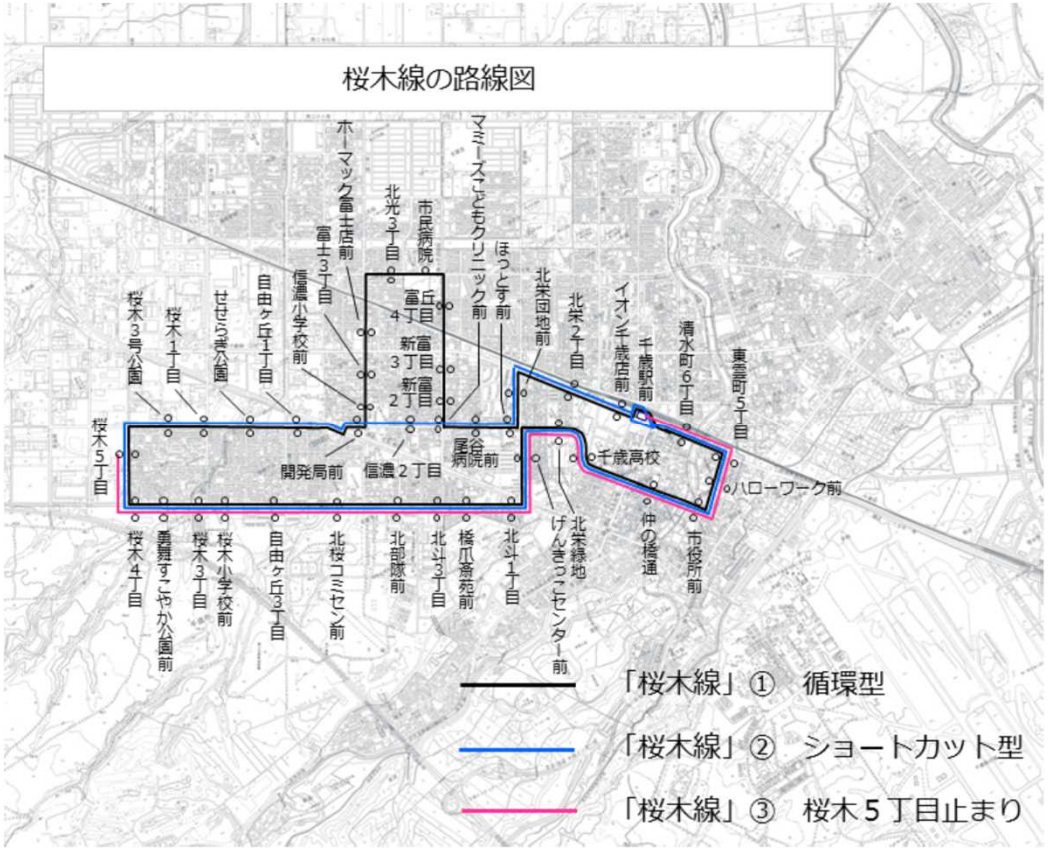
・令和3年3月からGTFSデータを活用した「バス運行情報配信システム」の配信を開始し、バスロケーションシステム「ちーなび」は令和3年度末を以てサービスを終了した。

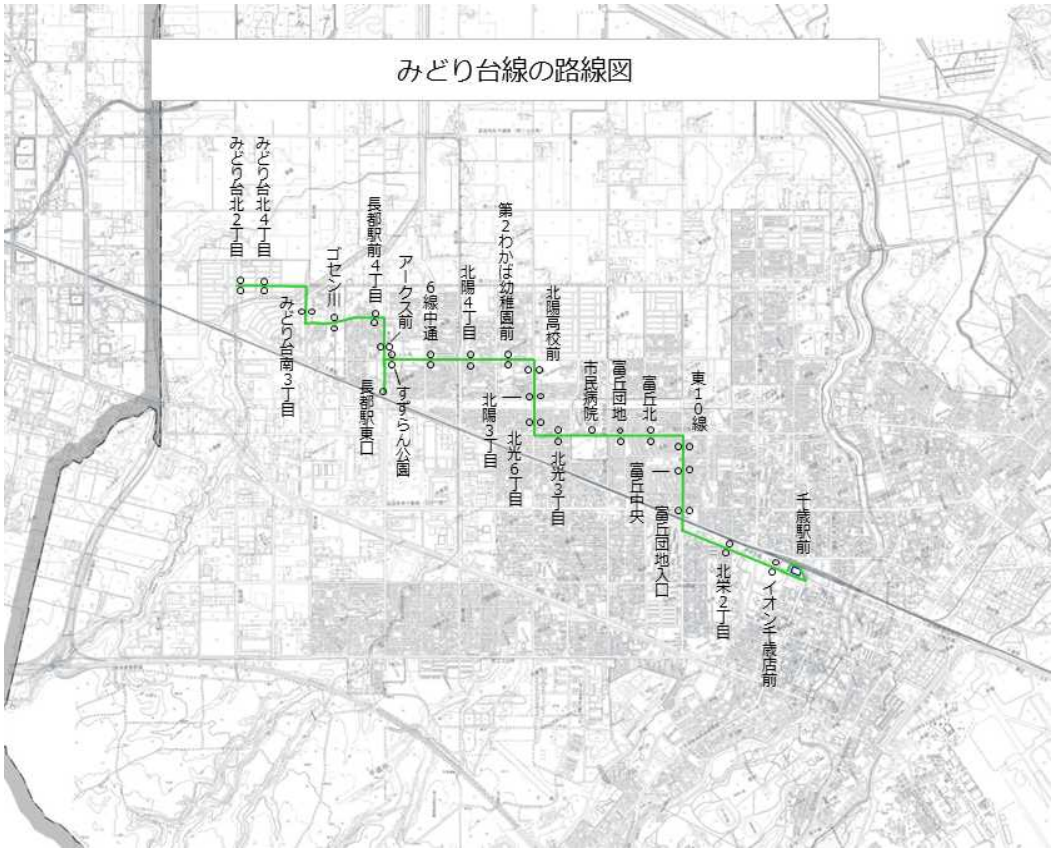
・市内各バス事業者のGTFSデータの整備が完了（GTFS-JP4社、GTFS-RT3社）し、民間の経路検索サービスへ運行情報が反映された。

・公立千歳科学技術大学と連携し、バスマップのデザインの変更や乗り方ガイドの作成を行い、より見やすく、わかりやすいものに作り直した。

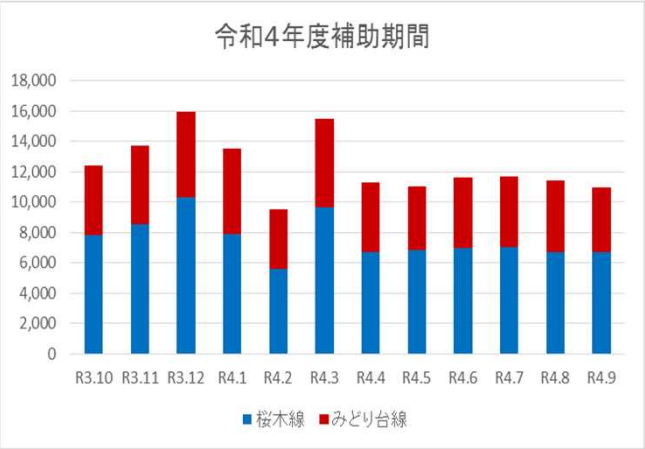
［R3.10～R4.9の状況］

２） 運行系統



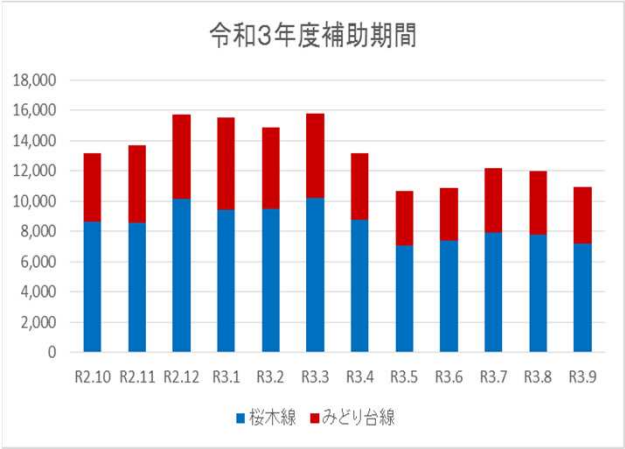


３）利用実績



単位：人

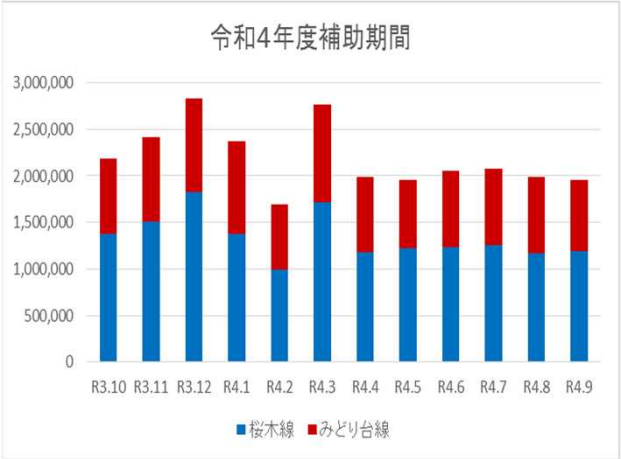
	桜木線	みどり台線
R3.10	7,797	4,601
R3.11	8,521	5,210
R3.12	10,343	5,610
R4.1	7,883	5,661
R4.2	5,571	3,977
R4.3	9,657	5,866
R4.4	6,678	4,610
R4.5	6,867	4,159
R4.6	6,956	4,645
R4.7	7,063	4,659
R4.8	6,713	4,708
R4.9	6,678	4,270
合計	**90,727**	**57,976**



単位：人

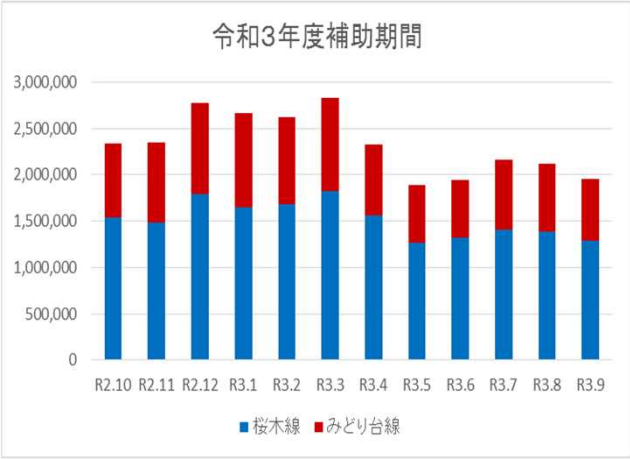
	桜木線	みどり台線
R2.10	8,646	4,518
R2.11	8,605	5,121
R2.12	10,172	5,552
R3.1	9,405	6,130
R3.2	9,470	5,409
R3.3	10,217	5,591
R3.4	8,791	4,388
R3.5	7,094	3,603
R3.6	7,384	3,500
R3.7	7,925	4,235
R3.8	7,760	4,258
R3.9	7,199	3,756
合計	**102,668**	**56,061**

４）収入実績



単位：円

	桜木線	みどり台線
R3.10	1,378,105	808,368
R3.11	1,502,782	912,965
R3.12	1,825,423	1,007,518
R4.1	1,374,054	992,362
R4.2	997,267	701,379
R4.3	1,715,091	1,044,288
R4.4	1,174,697	816,694
R4.5	1,224,308	731,106
R4.6	1,237,791	819,640
R4.7	1,251,993	827,090
R4.8	1,166,892	821,586
R4.9	1,187,139	764,988
合計	**16,035,542**	**10,247,984**



単位：円

	桜木線	みどり台線
R2.10	1,540,716	795,893
R2.11	1,488,284	857,648
R2.12	1,786,012	983,140
R3.1	1,647,257	1,020,669
R3.2	1,685,625	935,544
R3.3	1,827,521	1,002,984
R3.4	1,565,837	762,445
R3.5	1,261,392	632,735
R3.6	1,322,782	622,726
R3.7	1,407,418	759,554
R3.8	1,382,982	740,218
R3.9	1,283,253	671,796
合計	**18,199,079**	**9,785,352**

5）事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

１．４系統の収支率について

目標：44.0%　実績：36.8%

２．利用人数について （市調査） ※１日あたりの利用者数

（1）桜木線
目標：冬478人、夏443人
実績：冬398人(R03.12月)、夏261人(R04.4月)

（2）みどり台線
目標：冬257人、夏230人
実績：冬282人(R03.12月)、夏178人(R04.4月)

令和２年３月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大きく減少しており、少しずつ回復の傾向が見られているものの、依然として収益率は低迷しており、収益率は目標を下回っている。桜木線については、今年度より実証的に桜木長都線を運行しており、桜木線と区間が一部重複していることも収支率の低迷の要因と考えられる。

7）事業の今後の改善点

本系統については、収支率の改善が今後の課題であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、他の路線も含め、利用者数、運送収入ともに大きく減少している。
引き続き、自治体とバス事業者とが連携し、各種改善に向け、市民に安心して利用してもらえるよう、また、さらなる利便性の向上、路線の効率化などに取り組んでいく。

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和5年度分と併せて評価）